

チャレンジ項目記入数

11

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・入社時に企業目的・理念の教育を実施している。 ・企業目的、理念を休憩室に掲示し、従業員に共有している。 https://kk-greens.jp/corporate_philosophy/								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・本社にて、代表取締役社長を委員長とした「リスク管理・コンプライアンス委員会」を設置し、コンプライアンス体制を整備している。コンフォートホテル熊本新市街でも、全社的に実施しているコンプライアンス教育(個人情報保護、インサイダー取引、ハラスメント等)を年1回以上実施している。															16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・就業規則内「服務規律」の章で、不正競争行為の禁止について定めており、従業員への周知徹底を図っている。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・本社において、代表取締役社長を委員長とした部門横断的なサステナビリティ推進委員会を設置している。コンフォートホテル熊本新市街においては、事務局が配信しているサステナビリティ活動報告や、エリアマネージャーやホテルのマネージャーを通じ、活動を浸透・推進させている。															16			
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・商標等の知的財産権を取得している。 ・商標権侵害が発生しないよう、調査を実施している。								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・株式会社グリーンズとしてプライバシーマークを取得し、その要件に準拠した対応をコンフォートホテル熊本新市街でも行っている。 ・本社にて個人情報保護管理委員会を設置し、コンフォートホテル熊本新市街でも、個人情報保護マネジメントシステムにそった運用・管理を実施している。 ・本社にて、個人情報保護方針を策定し、コンフォートホテル熊本新市街でも、当方針に基づき運用している。 ・年に1回以上、個人情報保護教育を実施している。															16			
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・各予約サイトや自社サイトの問い合わせフォームにおいて、ステークホルダーからの問い合わせや意見を収集し、回答を実施している。															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・商談の際には、「CSR調達ガイドライン」を活用している。 https://kk-greens.jp/csr_guide/					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・本社で事業継続計画(BCP)を策定しており、コンフォートホテル熊本新市街においても、このBCPマニュアルに基づき、従業員の安否確認等の訓練を定期的に実施している。									9		11		13.1			16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・グリーンズグループDiversity&Inclusion憲章を策定し、公表している。 https://kk-greens.jp/diversity/ ・定期定な面談や専任の担当を置くなどして、障がい者が働きやすい職場環境づくりを実施している。 ・女性の産休、育休中にフォローを行い、職場復帰しやすい環境づくりに取り組んでいる。 ・外国籍の従業員を対象とした研修の導入を推進している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・就業規則内「安全衛生」の章で労働安全衛生について定め、社有車の安全使用管理や火災予防、非常災害時の対応等について、従業員の周知徹底を図っている。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金等の原則に沿った雇用形態に関わらない公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・男性の育児休暇取得を積極的に推奨している。 ・勤怠システムによるアラート管理を実施し、業務負荷が高い場合のフォローをしている。 ・一部店舗におけるセルフチェックイン・アウト機の導入や、クラウドワークフローシステム・勤怠管理システム等の活用による時間短縮を促進している。 ・各会議体における必要性、回数、時間、出席者等の見直しを実施した。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・役割や能力等に応じた教育機会を提供している。 ・eラーニングの導入により、常に学習できる環境を整備している。 ・公的資格取得の奨励金制度を導入している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・年1回以上の健康診断を実施している。 ・上半期、下半期にそれぞれ1回ずつ、7連休の連続休暇を取得することができるようにしている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・女性の産休、育休中にフォローを行い、職場復帰しやすい環境づくりに取り組んでいる。 ・外国籍の従業員を対象とした研修の導入を実施している。 ・定年を60歳から65歳へ引き上げ、定年退職後の再雇用制度を導入している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・ウェブ会議を積極的に活用している。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・セルフチェックイン・アウト機や、セルフクロークを導入し、業務の効率化を実現した。								8	9.1		11	12					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					

					チャレンジ項目記入数	11																		
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物の管理及び処理を適切に実施している。 ・ペットボトルの使用量削減のために、無料給水スポット検索アプリ「mymizu」に登録している。 ・有害化学物質について把握し、定期的に水質検査をするなど、適切な使用に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・本社の施設管理部門にて、エネルギー使用量や温室効果ガス排出量について把握し、それをコンフォートホテル熊本新市街にも共有している。 ・お客様のいらっしゃる時間帯は、節電のために共用部分等の消灯を行っている。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・株式会社グリーンズとして、温室効果ガスの中でも特にCO2削減の取り組みを推進しており、コンフォートホテル熊本新市街でも2030年で2013年度比46%削減を目標としている。 ・日常のこまめな節電を実施している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・水資源の確保のために、連泊のお客様のリネン類を原則交換しない(3日に1回)取り組みを実施している。 ・節水活動として、客室のバスタブ内に適正水量を示すシールを貼付け、必要以上にお湯を溜め、溢れることのないように働きかけている。						6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・無料給水アプリ「mymizu」に登録し、ペットボトルの使用量削減に寄与している。 ・ホテル客室のトイレットペーパー使い切りの取り組みを実施している。 ・コピー用紙の使用量削減の取り組みを実施している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・水資源の確保のために、連泊のお客様のリネン類を原則交換しない(3日に1回)取り組みを実施している。 ・節水活動として、客室のバスタブ内に適正水量を示すシールを貼付け、必要以上にお湯を溜め、溢れることのないように働きかけている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・事務用品等を順次、環境に配慮した商品に切り替えている。 ・商談時には、環境に配慮した商品も提案してもらっている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●			1	2				6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●													11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●	・空調自動制御装置を導入している。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・無料給水アプリ「mymizu」に登録し、ペットボトルの使用量削減に寄与している。 ・客室アメニティの素材変更や提供方法の変更により、ワンウェイプラスチックの使用量削減に取り組んでいる。													12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●											9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	・株式会社グリーンズとして、2050年CO2排出実質ゼロを目指し、そのマイルストーンとして、2030年には2013年度比46%削減を目標としており、コンフォートホテル熊本新市街でも同目標を掲げて取り組んでいる。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

チャレンジ項目記入数

11

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・定期的にルームインスペクションを実施し、客室の不備の有無などを確認している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・筆談器具の設置、車椅子のお客様や高齢者の簡単な介助、eラーニングでのサービス介助知識の習得などを実施し、「観光施設における心のバリアフリー認定」を受けている。									9.1	10	11.7					17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・全社的にホテルの朝食用に地産地消朝食メニューの開発を進めており、コンフォートホテル熊本新市街では、2023年2月に熊本県産味噌を使用した「だご汁」を導入した。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・プラスチック使用量の削減のため、無料給水アプリ「mymizu」に登録し、ペットボトルの使用量削減に寄与している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・「Choice Guest Club」という当社の制度を使って、「環境」「教	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・本社で事業継続計画(BCP)を策定しており、コンフォートホテル熊本新市街においても、このBCPマニュアルに基づき、従業員の安否確認等の訓練を定期的に実施している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・eラーニングでSDGsに関して学習をしている。 ・全社員が一丸となってSDGsに取り組むべく、「グリーンズグループ2030年CSR宣言」ポスターを事務所等へ掲示している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・職場体験受け入れの体制やプログラムを整備している。 ・四日市本社においては、経団連が主催する観光インターンシップ等に参画し、受け入れを行っている。				4				8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17